

Oracle.1z0-1072-24.v2025-03-11.q34

試験コード:	1z0-1072-24
試験名称:	Oracle Cloud Infrastructure 2024 Architect Associate
認定資格:	Oracle
無料問題数:	34
バージョン:	v2025-03-11
アクセス数:	1677
ページビュー数:	340
https://www.jpnpdf.com/Oracle.1z0-1072-24.v2025-03-11.q34-mondaishu.html	

最新問題: 1

読み取り専用権限を持つ DB システムの FSS へのアクセスをどのように許可しますか？

- A. ステートフルイングレスルールを許可するようにセキュリティリストを変更します。
- B. READ_ONLY アクセスを許可する NFS エクスポート オプションを作成します。
- C. DB システムのインスタンスのプリンシパルを作成します。
- D. ステートレスイングレスルールを許可するようにセキュリティリストを変更します。

Answer: B ([メッセージを残す](#))

最新問題: 2

データベース サーバーと OCI オブジェクトストレージ間の通信が安全であることを保証するには、どの OCI 機能を使用する必要がありますか？

- A. NATゲートウェイを使用する
- B. サービスゲートウェイを使用する
- C. VPNゲートウェイを使用する
- D. ローカルピアリングゲートウェイを使用する

Answer: B ([メッセージを残す](#))

最新問題: 3

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) プライベート ネットワーク ロード バランサでサポートされている 3 つのプロトコルはどれですか。

- A. BGP
- B. HTTP
- C. iSCSI
- D. UDP
- E. TCP
- F. ICMP

Answer: B,D,E ([メッセージを残す](#))

最新問題: 4

どのトラフィック管理ステアリング ポリシーが、エンド ユーザーの地理的な場所に基づいて DNS トラフィックの分散を促進しますか。

- A. ジオロケーションステアリング
- B. ASN ステアリング
- C. IPプレフィックスステアリング
- D. 近接ステアリング

Answer: A ([メッセージを残す](#))

OCI のトラフィック管理ステアリング ポリシーのジオロケーション ステアリングを使用すると、エンド ユーザーの地理的な場所に基づいて DNS トラフィックを分散できます。この方法により、ユーザーを最も近い地域のエンドポイントに誘導し、レイテンシを最適化してユーザー エクスペリエンスを向上させることができます。

* 使用例: ジオロケーション ステアリングは、地域固有のコンテンツを配信したり、データ所在地法に準拠したり、最も近い利用可能なサーバーにトラフィックを誘導してサービスパフォーマンスを最適化したりするためによく使用されます。

参考文献:

* Oracle Cloud Infrastructure ドキュメント: トラフィック管理ステアリング ポリシー

最新問題: 5

即時アクセスと 31 日間の保持の要件を満たしながらコストを最小限に抑えてバックアップを保存するのに適した OCI オブジェクト ストレージ層はどれですか。

- A. アーカイブ層
- B. 自動階層化
- C. 標準層
- D. 低頻度アクセス層

Answer: ([解答を表示する](#)**)**

OCI オブジェクト ストレージの低頻度アクセス層は、コストを最小限に抑えながら、すぐにアクセスでき、31 日間などの特定の期間保持する必要があるバックアップを保存するのに適しています。この層はコストとアクセス性のバランスが取れており、標準層と比較してストレージ コストが低くなりますが、データへの迅速なアクセスが可能になります。

* 使用例: 低頻度アクセス層は、頻繁にアクセスされないが、必要なときにすぐに利用できるようにしておく必要があるデータ用に設計されており、バックアップ ストレージに最適です。

参考文献:

* Oracle Cloud Infrastructure ドキュメント: オブジェクト ストレージ層

最新問題: 6

ボリュームをインスタンスから切り離すと、ボリュームのパフォーマンス レベルはどうなりますか？

- A. パフォーマンス レベルは低コスト (0 VPU/GB) に調整されます。
- B. パフォーマンス レベルは変更されません。
- C. パフォーマンス レベルがより高いパフォーマンスに調整されます。
- D. パフォーマンス レベルがバランスに調整されます。

Answer: A ([メッセージを残す](#))

最新問題: 7

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) のバースト可能インスタンスに関して正しくない記述はどれですか？

- A. インスタンスの平均 CPU 使用率がベースラインを下回る場合、ベースラインを超えてバーストする可能性があります。
- B. バースト可能なインスタンスは、ベースライン OCPU に応じて課金されます。
- C. バースト可能なインスタンスは通常のインスタンスよりもコストが低くなります。
- D. ベースライン使用率は各 CPU コアの割合です。

Answer: A,C ([メッセージを残す](#))

最新問題: 8

インスタンス プリンシパルのこのセットアップを完了するために必要な手順ではないのはどれですか。

- A. 動的グループに属するすべてのインスタンスにアプリケーションと SDK をデプロイします。
- B. 一致するルールを持つ動的グループを作成し、サービスに対して API 呼び出しを実行できるインスタンスを指定します。
- C. コンパートメントまたはテナンシ内のサービスにアクセスするための権限を動的グループに付与するポリシーを作成します。
- D. 動的グループ内のインスタンスが API で認証できるように認証トークンを生成します。

Answer: D ([メッセージを残す](#))

OCI のインスタンス プリンシパルを使用すると、コンピューティング インスタンスはユーザー アカウントを必要とせずに OCI サービスに対して直接 API 呼び出しを行うことができます。インスタンス プリンシパルを設定するには、次の手順が必要です。

- * A. アプリケーションと SDK をデプロイする: インスタンス上で実行されるアプリケーションは、OCI SDK または CLI を使用して API 呼び出しを行う必要があります。
- * B. 動的グループを作成する: API 権限を使用できるインスタンスを識別するために、一致するルールを持つ動的グループを定義します。
- * C. ポリシーを作成する: 動的グループにサービスにアクセスするために必要な権限を付与する IAM ポリシーを作成します。

オプション D は必要ありません。動的グループ内のインスタンスはインスタンス プリンシパルを使用して認証し、API を使用したユーザー認証に使用される認証トークンを必要としないためです。

参考文献:

最新問題: 9

無効な Oracle Cloud Infrastructure (OCI) Identity and Access Management (IAM) ポリシーはどれですか？

- A. テナント内のユーザーを任意のユーザーが検査できるようにする
- B. 動的グループ 'Default'/'FrontEnd' がコンパートメント Project-A 内のインスタンス ファミリを管理できるようにします。
- C. グループ 'Default'/'A-Admins' がコンパートメント Project-A 内のすべてのリソースを管理できるようにします。
- D. グループ 'Default'/'A-Developers' がコンパートメント Project-A にボリュームを作成できるようにします。

Answer: ([解答を表示する](#))

最新問題: 10

OCI のインスタンス構成とインスタンス プールについて正しい記述はどれですか。

- A. インスタンス プールに関連付けられている場合は、インスタンス構成を削除できます。
- B. 複数のインスタンス プールで同じインスタンス構成を再利用することはできません。
- C. インスタンス構成は、インスタンス プールに関連付けられていない場合にのみ削除できます。
- D. インスタンス プールには、複数のインスタンス構成を関連付けることができます。

Answer: ([解答を表示する](#))

インスタンス構成とインスタンス プールは、OCI でインスタンスのグループをまとめて管理するために使用されます。

* インスタンス構成の削除: インスタンス構成は、現在インスタンス プールに関連付けられている場合は削除できません。インスタンス構成を削除する前に、まずインスタンス プールの関連付けを解除するか削除する必要があります。

* インスタンス構成の再利用: 複数のインスタンス プールに対して同じインスタンス構成を再利用できるため、異なるコンテキストで同一のインスタンス グループをデプロイできます。

* インスタンス プール: 1 つのインスタンス プールは 1 つのインスタンス構成にのみ関連付けることができるため、プール内のインスタンス間で一貫性が確保されます。

* 関連する OCI ドキュメント:

* インスタンス構成の概要

* インスタンスプールの概要

これらのリファレンスでは、削除のルールを含むインスタンス構成とプールの管理方法について説明します。

最新問題: 11

オンプレミス データ センターから us-ashburn-1 リージョンの仮想クラウド ネットワーク (VCN) への完全冗長接続を実現するには、どの 2 つのオプションが適していますか？

- A. 単一のオンプレミス CPE からサイト間 VPN を構成します。
- B. 1 つの FastConnect 仮想回線を us-ashburn-1 リージョンに構成し、2 番目の FastConnect 仮想回線を us-phoenix-1 リージョンに構成します。
- C. us-ashburn-1 リージョンへの 1 つの FastConnect 仮想回線と、us-ashburn-1 リージョンへのサイト間 VPN を構成します。
- D. us-ashburn-1 リージョンへの 2 つの FastConnect 仮想回線を構成し、オンプレミスのさまざまなハードウェアで終了します。

Answer: C,D (メッセージを残す)

最新問題: 12

OCI Confidential Computing の主な機能と利点を正確に説明している記述はどれですか？

- A. 使用中のデータとそのデータを処理するアプリケーションを暗号化して分離します。
- B. 自動スケーラビリティと負荷分散機能を提供します。
- C. 高度なルーティング アルゴリズムを通じてネットワーク パフォーマンスを最適化します。
- D. 分散ファイルシステムを使用して、データを安全に保存および取得できるようになります。

Answer: A (メッセージを残す)

最新問題: 13

ある金融会社が、高可用性とフォールト トレランスを備えたオンライン取引プラットフォームのアプリケーション アーキテクチャを設計しています。コストのかかるサービス 中断を回避し、データの耐久性を確保するために、アーキテクトは何をすべきでしょうか。

- A. 別のリージョンに新しい Object Storage バケットを作成し、5 日ごとにデータを移動するようにリサイクル ポリシーを構成します。
- B. 別の OCI リージョンの別のバケットにデータを送信するためのレプリケーション ポリシーを作成します。
- C. オブジェクトストレージ バケットをブロック ボリュームにコピーします。
- D. ライフサイクル ポリシーを作成して、データを標準ストレージからアーカイブ ストレージに定期的送信します。

Answer: B (メッセージを残す)

最新問題: 14

ネットワーク監視用に作成できる 2 種類のキャプチャ フィルターは何ですか？

- A. フロー制御キャプチャフィルタとトラフィックキャプチャフィルタ
- B. VTAP キャプチャ フィルターとネットワーク キャプチャ フィルター
- C. フローログキャプチャフィルタとVTAPキャプチャフィルタ
- D. フローログキャプチャフィルタとパケットキャプチャフィルタ

Answer: C ([メッセージを残す](#))

最新問題: 15

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) のプライベート IP アドレスに関する次の 2 つの記述のうち正しいものはどれですか。

- A. プライベート IP は、パブリック サブネット内に存在する場合、オプションでパブリック IP を割り当てることができます。
- B. デフォルトでは、サブネット内のインスタンスのプライマリ VNIC には 1 つのプライマリ プライベート IP アドレスがあります。
- C. 各 VNIC にはプライベート IP アドレスを 1 つだけ設定できます。
- D. デフォルトでは、サブネット内のインスタンスのプライマリ VNIC には、プライマリ プライベート IP アドレスが 1 つとセカンダリ プライベート IP アドレスが 1 つあります。

Answer: ([解答を表示する](#))

最新問題: 16

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) でサイト間 VPN を設定することによる主な利点はどれですか 2 つあります。

- A. サイト間 VPN を設定する場合、顧客は 2 Gbps を超える帯域幅を期待できます。
- B. サイト間 VPN を設定する場合、顧客は静的ルーティングまたは動的ルーティング (BGP) を使用するように構成できます。
- C. サイト間 VPN を設定する場合、OCI は冗長 VPN トンネルをプロビジョニングします。
- D. サイト間 VPN を設定すると、一貫したネットワーク エクスペリエンスを提供するプライベート接続が作成されます。

Answer: B,C ([メッセージを残す](#))

Oracle Cloud Infrastructure でサイト間 VPN を設定すると、接続性と信頼性に関連するいくつかの重要な利点が得られます。

* 静的または動的ルーティング (BGP): OCI では、静的ルーティングまたは Border Gateway Protocol (BGP) を使用した動的ルーティングのいずれかを使用して、サイト間 VPN を構成できます。この柔軟性により、お客様はネットワーク構成と要件に最適なルーティング方法を選択できます。

* 冗長 VPN トンネル: サイト間 VPN を設定すると、OCI によって冗長 VPN トンネルが自動的にプロビジョニングされます。これらの冗長トンネルにより高可用性とフォールトトレランスが確保されるため、1 つのトンネルに障害が発生しても、トラフィックは中断することなく他のトンネルを通過し続けます。

* 帯域幅の考慮: VPNは信頼性の高い接続を提供しますが、通常は帯域幅は 2 Gbps です。より高い帯域幅の接続には通常 FastConnect が必要です。

* プライベート接続: VPN はオンプレミスのデータセンターと OCI の間に安全でプライベートな接続を作成しますが、FastConnect のような専用接続のように一貫したネットワーク エクスペリエンスを本質的に提供するものではありません。

- * 関連する OCI ドキュメント:
- * サイト間VPNの概要
- * VPNのルーティングの設定

これらのリファレンスでは、OCI でサイト間 VPN を設定する利点と技術仕様について詳しく説明します。

有効な **1z0-1072-24** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい 1z0-1072-24 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **1z0-1072-24** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com 1z0-1072-24 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com 1z0-1072-24 問題集をゲットする人はこちら：
<https://www.goshiken.com/Oracle/1z0-1072-24-mondaishu.html> (**5330%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w** 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 17

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) 内の 2 つの仮想クラウド ネットワーク (VCN) 間のリモート ピアリングを確立するために必要なコンポーネントはどれですか。

- A. 各リージョンに重複しない CIDRS を持つ単一の VCN、各 VCN に接続された動的ルーティング ゲートウェイ (DRG)、および DRGS 間の直接接続。
- B. 異なるリージョンで重複する CIDRS を持つ 2 つの VCN、各 VCN に接続された仮想プライベート ネットワーク (VPN) ゲートウェイ、および VPN ゲートウェイ間の直接接続。
- C. 同じリージョン内に重複しない CIDRS を持つ 2 つの VCN、各 VCN に接続された動的ルーティング ゲートウェイ (DRG)、および DRG 間の直接接続。
- D. 異なるリージョンにある重複しない CIDRS を持つ 2 つの VCN、各 VCN に接続された動的ルーティング ゲートウェイ (DRG)、各 DRG 上のリモート ピアリング接続 (RPC)、および RPC 間で確立された接続。

Answer: D (メッセージを残す)

Oracle Cloud Infrastructure のリモート ピアリングにより、異なるリージョンにある 2 つの VCN が安全に通信できるようになります。リモート ピアリングを確立するには、次のコンポーネントが必要です。

- * 重複しない CIDR を持つ 2 つの VCN:
 - * 2 つの VCN の CIDR ブロックは重複してはなりません。これは、ルーティングの競合を回避し、トラフィックが VCN 間で正しくルーティングされるようにするために重要です。
 - * 各 VCN に接続されたダイナミック ルーティング ゲートウェイ (DRG):
 - * DRG は、VCN と、リモート ピアリング経由の他の VCN、オンプレミス ネットワーク、またはその他のクラウド サービスなどの VCN 外部のネットワークとの間のトラフィック パスを提供する仮想ルーターです。
- 各 VCN には独自の DRG が必要です。
- * リモートピアリング接続 (RPC):

* RPC は、リモート ピアリング専用で使用される DRG 上の特殊な接続です。ピアリングする VCN に関連付けられた各 DRG に RPC を作成する必要があります。

* RPC間の接続:

* 最後に、2 つの DRG の RPC 間で接続を確立する必要があります。この接続により、Oracle のバックボーン ネットワークを介して VCN 間で安全かつプライベートなトラフィック交換が可能になります。

* 誤ったオプション:

* オプション A には単一の VCN が関係しており、2 つの VCN 間のリモート ピアリングの要件を満たしていません。

* オプション B には重複する CIDR と VPN ゲートウェイが含まれており、リモート ピアリングには適していません。

* オプション C は同じリージョン内でのピアリングを提案します。これは、リモート ピアリングではなくローカル ピアリングと見なされます。

* 関連する OCI ドキュメント:

* OCI リモート VCN ピアリング

* ダイナミックルーティングゲートウェイ (DRG) の概要

これらのリソースは、OCI でリモート ピアリングを構成し、リージョン間の VCN 間の安全で効果的な通信を確保するための詳細なガイドを提供します。

最新問題: 18

OCI の北米でのアウトバウンド データ転送の料金は 1 ギガバイトあたり 0.0085 米ドルですが、7 ペタバイトのアウトバウンド データ転送に毎月いくらかかるのでしょうか？

A. 59,500.00 ドル

B. \$0.00 (OCI では無料)

C. 150,000.00 ドル

D. 59,415.00 ドル

Answer: A ([メッセージを残す](#))

最新問題: 19

デフォルトでは、OCI IAM ポリシーは最小権限の原則に従います。この原則は、ポリシー作成のコンテキストではどのような意味を持つのでしょうか？

A. セキュリティを強化するには、ポリシーを複雑かつ技術的な方法で記述する必要があります。

B. アクセス制御を簡素化するために、ポリシーでは可能なすべての権限を付与する必要があります。

C. ポリシーは、ユーザーがタスクを効果的に実行するために必要な最小限の権限セットのみを提供する必要があります。

D. ポリシーは、テナンシー内のすべてのユーザーに対して同一である必要があります。

Answer: C ([メッセージを残す](#))

最小権限の原則は、ユーザーにはタスクを実行するために必要な最小限の権限セットのみを付与することを規定するセキュリティのベスト プラクティスです。この原則は、セキュリティを侵害する可能性のある偶発的または悪意のあるアクションのリスクを最小限に抑えるのに役立ちます。

* OCI の IAM ポリシー: OCI で IAM ポリシーを作成するときは、必要な権限を慎重に評価し、ユーザーまたはグループが特定のロールを実行するために絶対に必要な権限のみを付与する必要があります。これにより、攻撃対象領域が縮小され、機密リソースへの不正アクセスを防ぐことができます。

参考文献:

* Oracle Cloud Infrastructure ドキュメント: アイデンティティおよびアクセス管理 (IAM) のベスト プラクティス

最新問題: 20

最小限の労力で同一のインスタンスを作成できるイメージ オプションはどれですか？

- A. カスタムイメージを作成する
- B. 独自の画像を用意する
- C. OCIマーケットプレイスからイメージを選択します
- D. Oracle提供のイメージを使用する

Answer: A ([メッセージを残す](#))

最新問題: 21

可用性ドメイン全体にわたる高可用性と分散の要件を満たすために、いくつかの容量予約を作成しますか？

- A. 3つ
- B. 4つ
- C. 2つ
- D. 1つ

Answer: C ([メッセージを残す](#))

最新問題: 22

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) のバースト可能インスタンスに関して正しくない記述はどれですか？

- A. バースト可能なインスタンスは通常のインスタンスよりもコストが低くなります。
- B. バースト可能なインスタンスは、ベースライン OCPU に応じて課金されます。
- C. インスタンスの平均 CPU 使用率がベースラインを下回る場合、ベースラインを超えてバーストする可能性があります。
- D. ベースライン使用率は各 CPU コアの割合です。

Answer: A,B ([メッセージを残す](#))

OCI バースト可能インスタンスに関する次の記述は正しくありません。

* A. バースト可能なインスタンスは通常のインスタンスよりもコストが安い: これは誤りです。バースト可能なインスタンスは必ずしも安価というわけではなく、コストはベースラインの使用率によって異なります。CPU ベースラインを低くして実行する場合はコスト効率が高くなりますが、頻繁にベースラインを超えてバーストするとコストが高くなる可能性があります。

* B. バースト可能なインスタンスはベースライン OCPU に従って課金されます。これは誤りです。バースト可能なインスタンスは、ベースラインとバーストの両方の使用量を含む実際の OCPU 使用量に基づいて課金されるためです。インスタンスが頻繁にベースラインを超えて動作する場合、コストはこの高い使用量を反映します。

正しい概念:

* C. Burstable インスタンスは、平均 CPU 使用率がベースラインを下回る場合、一時的にベースラインよりも多くの CPU を使用できます。

* D. ベースライン使用率は各 CPU コアの割合であり、バーストなしで利用できる一貫したパフォーマンスのレベルを決定します。

参考文献:

* Oracle Cloud Infrastructure ドキュメント: バースト可能なインスタンス

最新問題: 23

ある金融会社が、高可用性とフォールトトレランスを備えたオンライン取引プラットフォームのアプリケーションアーキテクチャを設計しています。コストのかかるサービス中断を回避し、データの耐久性を確保するために、アーキテクトは何をすべきでしょうか。

A. 別のリージョンに新しいオブジェクトストレージバケットを作成し、定期的にデータを移動するリサイクルポリシーを設定します。

5日間。

B. 別の OCI リージョンの別のバケットにデータを送信するためのレプリケーションポリシーを作成します。

C. ライフサイクルポリシーを作成して、データを標準ストレージからアーカイブストレージに定期的に送信します。

D. オブジェクトストレージバケットをブロックボリュームにコピーします。

Answer: B (メッセージを残す)

高い可用性とフォールトトレランスが求められるオンライン取引プラットフォームでは、データの耐久性を確保し、コストのかかるサービス中断を回避することが重要です。Oracle Cloud Infrastructure (OCI) では、スケーラビリティ、耐久性、信頼性の高さから、トランザクションログやユーザーデータなどの重要なデータの保存にオブジェクトストレージがよく使用されます。

オプション B は、リージョン間でデータの耐久性と可用性を確保するための最も適切なアプローチです。その理由は次のとおりです。

* クロスリージョンレプリケーション (CRR): OCI は、オブジェクトストレージのクロスリージョンレプリケーションと呼ばれる機能を提供します。この機能を使用すると、バ

ケット内のオブジェクトを OCI リージョン間で自動的かつ非同期的に複製できます。この設定により、1 つのリージョンで障害が発生しても、別のリージョンでデータを引き続き利用できるようになり、高可用性とフォールトトレランスの要件を満たすことができます。

* データの耐久性: データを別のリージョンに複製することで、リージョンの停止から保護します。OCI は複製されたデータの 99.95% の可用性を保証します。これは、データの一貫性と耐久性が最も重要である金融会社の取引プラットフォームにとって非常に重要です。

* 災害復旧: 別のリージョンにデータを複製しておくことで、プライマリ リージョンで災害が発生した場合でも、取引プラットフォームはセカンダリ リージョンのデータにすばやく切り替えることができます。この設定により、目標復旧時間 (RTO) が大幅に短縮され、ビジネスの継続性が確保されます。

参考文献:

* Oracle Cloud Infrastructure ドキュメント: オブジェクトストレージのクロスリージョンレプリケーション

* Oracle ホワイトペーパー: Oracle Cloud Infrastructure における高可用性とディザスタリカバリ 誤ったオプションの説明:

* オプション A: 別のリージョンに新しいオブジェクトストレージバケットを作成し、5 日ごとにデータを移動するリサイクル ポリシーを構成すると、金融アプリケーションに必要なリアルタイムのデータ可用性やフォールトトレランスは提供されません。リサイクル ポリシーは、データのライフサイクルを管理するためのものであり、高可用性や災害復旧のためのものではありません。

* オプション C: ライフサイクル ポリシーは、アクセス頻度の低いデータをよりコスト効率の高いストレージ層 (例: 標準からアーカイブ) に移動する場合に役立ちますが、このユースケースで重要なリージョン間の冗長性やリアルタイムの可用性には対応していません。

* オプション D: オブジェクトストレージバケットをブロックボリュームにコピーすることは、データの耐久性とフォールトトレランスを確保するための推奨される方法ではありません。ブロックボリュームはコンピューティングインスタンスに接続された永続ストレージとして使用され、オブジェクトストレージデータをブロックボリュームにコピーしても、レプリケーションポリシーと同じレベルの冗長性とリージョン間の可用性は実現されません。

したがって、オプション B は、このシナリオで高可用性とフォールトトレランスを確保するための正しい、最も効率的な方法です。

最新問題: 24

ボリュームのクロスリージョンレプリケーションを有効にし、宛先リージョンとして米国西部 (サンノゼ) を選択しました。ボリュームレプリカから新しいボリュームを作成するにはどうすればよいでしょうか?

A. レプリカをアクティブ化します。

B. レプリカをトリガーします。

C. アクションは必要ありません。デフォルトでは、レプリカはブロック ボリュームとして使用できます。

D. レプリカを開始します。

Answer: A ([メッセージを残す](#))

最新問題: 25

クロスリージョンアクセスを容易にするために OCI IAM をどのように構成すればよいですか？

A. アイデンティティ ドメインは他のリージョンに自動的に複製されます。

B. アイデンティティ ドメインのレプリケーションを有効にする必要があります。

C. 管理者は、ユーザーに他のリージョン内の特定のリソースにアクセスするための権限を付与できます。

D. デフォルトでは、ユーザーはすべてのリージョンのリソースにアクセスできます。

Answer: ([解答を表示する](#))

最新問題: 26

Network Visualizer ツールは、OCI 上の仮想ネットワーク インフラストラクチャの管理に役立つのはなぜですか？

A. 選択したリージョンとテナンシー内のすべての VCNS のトポロジを視覚化します。

B. ネットワーク パフォーマンス メトリックに関する自動レポートを生成します。

C. 物理ネットワーク コンポーネントに関する詳細情報を提供します。

D. ネットワーク トラフィックのリアルタイム監視を提供します。

Answer: A ([メッセージを残す](#))

最新問題: 27

OCI IAM アイデンティティ ドメイン内のアクセス制御に管理者ロールを利用する主な利点は何ですか？

A. より幅広い権限の組み合わせを提供する

B. 特定のコンパートメントへのユーザーアクセスを細かく制御する

C. ポリシー作成をなくすことでアクセス管理を簡素化

D. アイデンティティドメイン外のリソースへのアクセスを許可するために使用できます

Answer: D ([メッセージを残す](#))

最新問題: 28

VM インスタンスをルートキットやブートキットなどの低レベルの脅威から保護したい場合、どうすればよいでしょうか？

A. 転送中の暗号化を使用します。

B. バースト可能なインスタンスを作成します。

C. 脆弱性スキャン サービスを使用します。

D. シールドされたインスタンスを作成します。

Answer: ([解答を表示する](#))

最新問題: 29

デフォルトでは、OCI IAM ポリシーは最小権限の原則に従います。この原則は、ポリシー作成のコンテキストではどのような意味を持つのでしょうか？

- A. ポリシーは、テナンシー内のすべてのユーザーに対して同一である必要があります。
- B. ポリシーは、ユーザーがタスクを効果的に実行するために必要な最小限の権限セットのみを提供する必要があります。
- C. セキュリティを強化するには、ポリシーを複雑かつ技術的な方法で記述する必要があります。
- D. アクセス制御を簡素化するために、ポリシーでは可能なすべての権限を付与する必要があります。

Answer: ([解答を表示する](#))

最新問題: 30

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) 仮想クラウド ネットワーク (VCN) の作成に使用できる有効な RFC 1918 CIDR プレフィックスは次のどれですか。

- A. 192.268.0.0/24
- B. 0.0.0.0/0
- C. 192.168.0.0/16
- D. 10.0.0.0/8

Answer: C ([メッセージを残す](#))

最新問題: 31

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) のプライベート IP アドレスに関する次の 2 つの記述のうち正しいものはどれですか。

- A. デフォルトでは、サブネット内のインスタンスのプライマリ VNIC には、プライマリ プライベート IP アドレスが 1 つとセカンダリ プライベート IP アドレスが 1 つあります。
- B. 各 VNIC にはプライベート IP アドレスを 1 つだけ設定できます。
- C. デフォルトでは、サブネット内のインスタンスのプライマリ VNIC には 1 つのプライマリ プライベート IP アドレスがあります。
- D. プライベート IP は、パブリック サブネット内に存在する場合、オプションでパブリック IP を割り当てることができます。

Answer: C,D ([メッセージを残す](#))

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) では、ネットワーク インタフェースを構成し、Virtual Cloud Network (VCN) 内でインスタンスを管理するには、プライベート IP アドレスの仕組みを理解することが重要です。

* プライマリ VNIC とプライベート IP アドレス:

* インスタンスが OCI で起動されると、仮想ネットワーク インターフェイス カード (VNIC) に接続されます。

インスタンスの起動時に自動的に作成されるプライマリ VNIC は、デフォルトでプライマリ プライベート IP アドレスに関連付けられます。このプライベート IP アドレスは、インスタンスが VCN 内で通信するために不可欠です。プライマリ プライベート IP アドレスは自動的に割り当てられ、インスタンスの実行中にプライマリ VNIC から削除することはできません。これは、ステートメント C をサポートします。

* 追加のプライベート IP:

* ステートメント B とは反対に、各 VNIC は複数のプライベート IP アドレスを持つことができますが、デフォルトではプライマリ VNIC にはプライマリ プライベート IP が 1 つだけ付属しています。必要に応じて、セカンダリ プライベート IP を手動で追加できます。ただし、追加の IP はデフォルトでは割り当てられないため、A は正しくありません。

* パブリック IP 協会:

* インターネット アクセスを必要とするインスタンスの場合、インスタンスがパブリックサブネット内にある場合は、オプションでパブリック IP アドレスをプライベート IP アドレスに割り当てることができます。これは、インスタンスがインターネットまたは外部ネットワークと通信する必要があるシナリオでは重要です。これは、ステートメント D と一致します。

* 関連する OCI ドキュメント:

* Oracle Cloud Infrastructure ネットワークの概要

* VNIC とプライベート IP

これらのリファレンスは、OCI 内でプライベート IP アドレスがどのように機能するかについての追加コンテキストと詳細を提供し、正しい記述を明確にします。

有効な **1z0-1072-24** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい 1z0-1072-24 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **1z0-1072-24** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com 1z0-1072-24 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com 1z0-1072-24 問題集をゲットする人はこちら:

<https://www.goshiken.com/Oracle/1z0-1072-24-mondaishu.html> (**5330%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w** 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: **32**

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) 内の 2 つの仮想クラウド ネットワーク (VCN) 間のリモート ピアリングを確立するために必要なコンポーネントはどれですか。

A. 異なるリージョンで重複する CIDRS を持つ 2 つの VCN、各 VCN に接続された仮想プライベート ネットワーク (VPN) ゲートウェイ、および VPN ゲートウェイ間の直接接続。

B. 異なるリージョンにある重複しない CIDRS を持つ 2 つの VCN、各 VCN に接続された動的ルーティング ゲートウェイ (DRG)、各 DRG 上のリモート ピアリング接続 (RPC)、および RPC 間で確立された接続。

C. 同じリージョン内に重複しない CIDRS を持つ 2 つの VCN、各 VCN に接続された動的ルーティング ゲートウェイ (DRG)、および DRG 間の直接接続。

D. 各リージョンに重複しない CIDRS を持つ単一の VCN、各 VCN に接続された動的ルーティング ゲートウェイ (DRG)、および DRGS 間の直接接続。

Answer: B ([メッセージを残す](#))

最新問題: 33

可用性ドメイン全体にわたる高可用性と分散の要件を満たすために、いくつかの容量予約を作成しますか？

A. 1つ

B. 2つ

C. 3つ

D. 4つ

Answer: ([解答を表示する](#))

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) では、可用性ドメイン (AD) 全体にわたって高可用性と分散を確保するために、次のアプローチが推奨されます。

* 高可用性のための容量予約: 特にリージョン内の 3 つの可用性ドメイン全体で高可用性を実現するには、3 つの容量予約を作成する必要があります。各予約は 1 つの AD に対応し、インスタンスまたはリソースが均等に分散され、AD レベルの障害に対して回復力があることを保証します。

* 理由 3: この設定により、AD 全体に冗長性と負荷分散が提供され、高可用性の要件が満たされます。

* 関連する OCI ドキュメント:

* 定員予約

このドキュメントでは、高可用性とフォールトトレランスの要件を満たすために容量予約を作成および管理する方法について説明します。

最新問題: 34

既存のドメインを Oracle Cloud Infrastructure (OCI) DNS サービスに委任することに関して正しい記述はどれですか。

A. すべてのドメインは DYN 経由で OCI DNS に取得できます。

B. ドメインは、独自のサービスポータルから OCI DNS に自己委任できます。

C. ドメインは、ドメインレジストラのセルフサービスポータルから OCI DNS に委任できます。

D. ドメインは、FastConnect パートナーを介して OCI DNS に委任できます。

Answer: C ([メッセージを残す](#))

Valid 1z0-1072-24 Dumps shared by GoShiken.com for Helping Passing 1z0-1072-24 Exam! GoShiken.com now offer the **newest 1z0-1072-24 exam dumps**, the GoShiken.com 1z0-1072-24 exam **questions have been updated** and **answers have been corrected** get the **newest** GoShiken.com 1z0-1072-24 dumps with Test Engine here: <https://www.goshiken.com/Oracle/1z0-1072-24-mondaishu.html> (**53 Q&As** Dumps, **30%OFF** Special Discount: **Freepdfdumps**)